

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度 総合	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己 評価	外部 アンケート 等			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	○授業の内容に、生徒の85%以上が満足している。	○演習や言語活動を効果的に組み込むなど、生徒が意欲・集中力を持続できる授業を工夫する。	A	A	A	○94%の生徒が「満足している」と回答しているが、さらに工夫を重ね、生徒が充実感を得られるような授業を展開していきたい。 ○2学年数学において若干数値が伸びていないが、習熟度における学力向上の有用性を示すなど工夫していきたい。 ○96%の生徒が「太女のことが好きである。」と回答している。魅力ある学校として外部にも発信できるような手立てを考えたい。	ODXハイスクールの指定を受け、高校探究エクスポに参加するなど、生徒の学習の意欲を高めると共に環境整備に努めている。 ○94%の生徒が「満足している」96%の生徒が「学校が好きである」と回答しているのは本当に素晴らしい。行ってみて学校のよさに気づくこともあると思うが、こういう結果を積極的に発信し、太女のよさを中学生に伝えることで入試の倍率も変わってくると思います。 ○様々な取り組みを通して太女らしい教育活動が行われていると感じられる。「自分の学校が好き」と答える生徒が96%という結果に現れるように生徒が充実感をもっていることが評価できる。代表生徒との懇談でも満足と充実感が感じられた。
		○習熟度別の授業形態に、生徒の85%以上が満足している。	○生徒の学力に応じた授業内容を工夫し、生徒の理解度や学習意欲を高める。	A	A	A		
		○自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、85%以上である。	○生徒が学校生活で充実感を得られるように環境を整える。	A	A	A		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	○進路実現に向けた学習指導に満足している生徒が80%以上である。	○55分を有効に活用し、授業改善に努めると同時に、土曜学習や課外授業の内容を充実させる。	A	A	A	○94%の生徒が授業内容に「満足している・おおむね満足している」と答えている。残りの生徒も満足できるようよい授業をさらに追究していきたい。 ○2学期の調査で4冊以上の本を読んだ生徒が27.6%という現状である。各教科とりわけ探究と読書を連動させることで論理的思考力が向上することを生徒に訴えてゆきたい。 ○96%以上の生徒が基礎学力と応用力を身につけられると「思う・ある程度思う」と答えている。実際に学力の向上が図れるよう学習の習慣を定着させていきたい。 ○3学年については、入試の結果が出そろっていないが、学年と教科の密接な連携のもと指導した結果が出るよう最後まで指導を継続する。 ○2学年については、11月の模試結果ではあるが、3教科総合で偏差値60以上の生徒約25%という結果だった。今後の授業や課外で中上位層(偏差値55~)を引き上げる指導の改善が必要である。 ○1学年については、11月の模試結果ではあるが、3教科総合で偏差値60以上の生徒は54名であった。約21%という結果なので、今後の授業や課外で中上位層(偏差値50~55)を引き上げる指導の改善が必要である。	○図書室、会議室などを開放して自主的に学習できる環境を整えている。 ○生徒の学力向上や入試結果は、魅力ある学校という点でも重要となる要素なので、学力不振の生徒や逆に積極的に学習したい生徒に対する個別指導や課外授業の更なる充実を図る。現在どのような形で個別指導や課外授業が行われているのかわかりませんが、 ○模試の成績には反映されていないが、生徒の満足度が高いことが評価できる。自己評価が高いことは今後の成長につながると思われる。
		○1年間に6冊以上の本を読んだ生徒が50%以上いる。	○論理的な思考力や感受性を高めるために「探究活動」を通じて読書の必要性を知らせる。	D	D	D		
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	○進路実現に向けた基礎学力と応用力を身に付けられると自己評価している生徒が70%以上である。	○予習復習を習慣化させ、基礎学力と応用力を定着させるように指導、課題を工夫する。	A	A	A		
		○国公立大学の合格者数が120名以上である。(3年)	○進路希望実現のため、学年と教科との密接な連携のもと、指導にあたる。	-	/	-		
		○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上いる。(2年)	○授業・課外・補習等を通じて全体のレベルアップを図る。	D	/	D		
○1月の全国模擬試験で偏差値60以上の生徒が40%以上いる。(1年)	○授業・課外授業を通して基礎学力の向上を図る。	D	/	D				
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	○しっかり清掃に取り組んでいると自己評価する生徒が80%以上である。	○生徒が主体的に清掃活動を行うことができるよう環境を整える。	A	A	A	○生徒が主体的に清掃活動を行っていることと多くの生徒が積極的かつ丁寧に取り組んでいる。生徒たちのアンケートでも、「しっかり取り組んでいる」と「おおむね取り組んでいる」をあわせると99%であった。家庭での教えもあり、生徒たちの清掃活動は非常に良好な状態である。今後もこの状態を維持し、学習環境の美化と整備に努める。 ○87%の生徒が「充実している・どちらかといえば充実している」と回答している。今後も、生徒会本部役員を中心とした生徒が主体となった活動を継続的に学校としても支援していきたい。 ○88%の生徒が「積極的に進んでいる・ある程度進んでいる」と回答している。 ○生徒の健康管理については校内での検診等の結果を保護者へ通知し、必要に応じて受診を勧めるようにしている。保健だより等を定期的に発行し、生徒や保護者への注意喚起をおこなっている。生徒アンケートでは「健康の維持・増進に努めている」と「ある程度努めている」とあわせて96.3%であった。全国的にインフルエンザ等の流行しているなか、本校ではそれほど多くはなかった。予防の意識は高く、手洗いうがいをおこなっている生徒も目にする。今後も健康維持や感染予防に努める。 ○97%の生徒が「充実している・どちらかといえば充実している」と回答している。今後も、生徒が主体となった活動を継続的に学校としても支援していきたい。 ○98%の生徒が「真剣に受け止めている・おおむね真剣に受け止めている」と回答している。今後も、県主催のサイクルサミットの成果を生徒主体に共有する活動を継続する等、学校としても支援していきたい。 ○95%の生徒が「着用している・ほとんど着用している」と回答している。 ○今後も、生徒が主体となったヘルメット着用の啓発活動を継続的に学校としても支援していきたい。 ○3学年については、12月までの数値は約26%であった。日頃の健康管理を大切に、精神面においても生徒のサポートを継続していく必要がある。 ○2学年については、12月までの数値は0.99%であった。引き続き体調管理に努め、充実した高校生活を送らせたい。 ○1学年については、12月までの数値は欠席率が約1.56%であった。高校生になって、学校生活になじみず欠席が多くなる生徒が各クラス1名ほどいる。朝と帰りのSHRを通して、クラスの雰囲気や良くし、誰とでも交流が持てるようにHR担任が心掛ける必要がある。	
		○生徒会活動が充実していると評価した生徒が85%以上である。	○生徒が自主的・積極的に活動するような行事計画を立案させる。	A	A	A		
	5 学校はいじめ防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	○本校がいじめ防止の取組を周知・実践していると評価する生徒・保護者が85%以上である。	○本校いじめ防止プログラムに従い指導を行う。	A	A	A		
		○健康管理の重要性を理解し、維持や改善に努力していると自己評価する生徒が80%以上である。	○保護者と協力し生徒自身が健康管理できるような指導と情報の提供を適宜行う。	A	A	A		
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	○部活動が充実していると評価した生徒が85%以上である。	○生徒が目標を持って積極的に活動できるように指導する。	A	A	A		
		○85%以上の生徒が安全指導を真摯に受け止め、交通事故ゼロを目指す。	○交通マナー向上及び事故予防回避の指導を行う。	A	A	A		
		○交通安全意識が高まり、自転車ヘルメットの着用率が90%を超えている。	○ヘルメット購入の案内紹介は機会を複数回設け、見本を手にとって見られるようにする。	A	A	A		
		○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(3年)	○自己管理能力を高め、学校を中心とした生活リズムを卒業まで保たせる。	B	/	B		
		○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(2年)	○学校生活を充実したものにするとともに、自己管理・健康管理の重要性を自覚させる。	A	/	A		
		○入院等のやむを得ない理由を除き、欠席率が1%未満である。(1年)	○基本的な生活習慣を定着させ、魅力ある授業と、活気が出るようクラス経営を工夫する。	B	/	B		
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	○進路に関するLHRや進路講演会等の各種進路行事が役立っていると評価する生徒が80%以上である。	○進路指導に関するLHRを充実させるとともに講演会については効果的な内容・時期にて実施する。	A	A	A	○90%以上の生徒が進路に関する行事が「役立っている・ある程度役立っている」と答えている。引き続き、魅力ある行事の計画・立案を図り実践していきたい。 ○80%以上の生徒が社会情勢と自己の適性を考慮して、志望校と自己のキャリアプランを関連させて「考えている・ある程度考えている」と答えている。キャリア教育目標を明確化させ、生徒がより具体的に自身のキャリアについて考えられるように促していきたい。	
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	○社会情勢と自己の適性を考慮して、志望校と自己のキャリアプランを関連させて考えている生徒が80%以上である。	○探究学習推進委員会と密接な連携の上で、キャリア教育の充実を図り、自己実現のために高い目標を設定させる。	A	A	A		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	○PTA関連行事(進路講演会・大学視察見学・文化祭等)に年1回以上参加している保護者が80%以上である。	○PTA行事についての保護者への告知やアンケート回答の方法を改善するとともにホームページ等による情報発信の機会を増やす。	B	A	B	○「1つも参加したことがない」との回答以外で93.6%と概ね良好なように思われるものの、「毎回参加」数は昨年度から半減、また本アンケートへの回答数自体が55件減少していることを鑑みると、学校に関わってもらう手法にこちら側の一層の工夫が必要であると考えられる。 ○95%の生徒・保護者がWebページの内容について「満足している」と回答している。他方、少数ではあるが、改善点も指摘いただいているので、参考にしながら、ブラッシュアップさせていきたい。	
		○学校のホームページを月に2回以上更新する。	○全職員に更新方法を周知する。	A	A	A		
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	○ICTを活用した授業に満足している生徒・保護者が70%以上である。	○授業における積極的かつ効果的なICT活用を推進する。	A	A	A	○授業におけるICT活用については、生徒の90.3%、保護者の94.6%が「満足している」・「おおむね満足している」と回答している。現状に甘んじることなく、ICTの活用研修など職員のスキルアップも図りたい。 ○ICTを活用した情報の配信については、生徒の93.8%、保護者の96.8%が「満足している」・「おおむね満足している」と回答している。現状維持以上を目指し、よりよい形を模索したい。 ○職員会議、朝会の完全ペーパーレス化を実現できている。継続して実施していきたい。	
		○職員会議と朝会は年間半数以上ペーパーレスで実施している。	○各種連絡、配布物やアンケートをオンラインで配信・回収する。	A	A	A		
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	○職員会議と朝会は年間半数以上ペーパーレスで実施している。	○職員会議資料閲覧資料を共有ネットワーク上に整備する。	A	/	A		